

## ◆企画広報室より

企画広報室 高橋 達也

皆さん、こんにちは！暑い日が続いていますね。近年、『熱中症』が増加しています。日常に潜む危険や救急処置など正しい知識を身につけて、暑い季節も安全に過ごしましょう。

さて、本学では、6/1（月）よりAO入学選考のエントリー受付が始まっています。

既にエントリー者もあり、中には「先輩に聞いた」「オープンキャンパスで、先輩達が優しく接してくれたので入学したいと思った」など、嬉しい声を耳にすることもできました。皆さんが受験生の時はいかがでしたか？進路決定に向けて色々悩んだり、エントリーシートや願書提出の時は緊張したり…みんな色々なことを考えながら過ごしていたと思います。高校生の方々もそんなドキドキと共に、学校見学に來たり、オープンキャンパスに参加したりしていますので、本学で会った際には是非、やさしく激励の声をかけてあげてください。

また、今後のオープンキャンパスでも夏休みにかけてスペシャルイベントを開催予定です！電子情報では、モバゲーで有名な DeNA からゲームディレクターを招いての特別講演や、ドローン(マルチコプター)の製造を行っている企業の方が来校しての講演&実演、福祉医療では各分野の卒業生を招いてのイベントなど盛りだくさんです！在校生の皆さんも楽しめる内容ですので興味のある方はぜひ参加してみてください！

皆さんの周りに、「将来、電子情報/福祉医療の分野を目指したい！」という方がいましたら、是非オープンキャンパスへの参加を勧めてみて下さい。楽しく体験授業に参加しながら、進路を決定していければ良いですね。私たちも、将来が希望に溢れている高校生の方々から本学に來てくれるのを、とても楽しみにしています。皆さんの力で、中村学園を更に盛り上げていきましょう！宜しくお願いします！

## ☆オープンキャンパス開催日程☆

- ・7月12日(日)9:30~12:00 スペシャルイベント  
学校説明・体験入学・AO入学選考説明・何でも相談会
- ・7月23日(木)17:00~18:30  
学校説明・ミニ体験入学・AO入学選考説明・何でも相談会
- ・8月 4日(火)17:00~18:30  
学校説明・ミニ体験入学・AO入学選考説明・何でも相談会
- ・8月19日(水)13:00~15:00 スペシャルイベント  
学校説明・体験入学・AO入学選考説明・何でも相談会
- ・8月29日(土)13:00~15:00 スペシャルイベント  
学校説明・体験入学・AO入学選考説明・何でも相談会

※全日程、保護者説明会も同時開催致します※

## ◆差別化は、「経験の価値」を

## 「ストーリー化」して

進路室長 橋野 幸男

「差別化せよ」とは、よく耳にするアドバイスです。それでは、「キャリアにおける差別化」や「就職活動」におけるそれは、どのようなことでしょうか。二人の見解を紹介します。

<A> ライバルとの差別化に必要なのは、①「容易にコピー&ペーストできない経験」と、②「それをストーリーへ仕立てる力」〔中原淳。大学・准教授、経営学習研究。『職場学習論～仕事の学びを科学する～』、『活躍する組織人の探求～大学から企業へのトランジション～』など〕

<B> ①「突き抜ける経験をしよう」、②「論理的・構造的にまとめ、話す練習をしよう」〔太田芳徳。人事運用コンサルティング会社代表、元・㈱リクルート勤務。〕

Aは、次のように述べます。

「容易にコピー&ペーストできず、他者にも代替できない。さらに、本人が確かな能力を持っていることを、第三者が想像できる。そうした経験の価値が飛躍的に高まっているように思います」。

「最も付加価値が高いのは、『ともに働くこと』、『ぶつかりつつ、決めること』、『成し遂げること』の三つが含まれる経験であると考えています。つまり、ビジネスの現場で多種多様な人々と出会うこと。彼らと議論・討論し、ときには衝突や葛藤を経験しながら、意思決定を行なうこと。さらに、それらをともに乗り越え、何かを成し遂げること」。

「経験によって得られた価値を第三者に示すには、ストーリーが必要であること。どのようなことを経験し、そこから何を得たのか。定期的に内省(振り返り)し、語れるようにしておくことが求められます」。

「どんな業務を成し遂げて、このキャリアの果てに、何を目標しているのか。獲得してきた経験やそこから培った能力を、どのように業務に活かすことができるのか。(就職や転職市場において…)、第三者である面接官を魅了し、説得しなければなりません」。

例えば、電子情報の学生が「プロ・ゼミ」で、PBL (Project - Based Learnig) に取り組んだ経験。企業から頂いた課題に、上級生とともに挑んで成果を上げたプロセスは、まさに上述の「付加価値の高い経験」として、「自己 PR」の素材の宝庫ではないでしょうか。あるいは、学生会、クラブ、ボランティアなど様々

な活動や、各自がテーマを設定して臨む「実習」。その過程と得た力を、ストーリー化して、企業・施設など応募先につけてみましょう。

… … … …

次に、B.では、まず、「企業が欲しがるとする人材」は「成果を持続的に出せる人」として、①「突き抜ける経験」＝「これまで自分が成し遂げたことのない何かに取り組み、成果を出していく経験」と、②その経験や自分の考えを「誰にでも分かりやすく書き、話すための訓練」の重要性を指摘しています。

「突き抜けるまでやるためには、自分で行動を起こし(主体性、自律行動力)、PDCA (計画→実行→検証→改善→次の計画→ …) のサイクルをどんどん回し(問題発見・解決力)、周りのメンバーも巻き込んで (リーダーシップ、チームワーク) 進めていく必要がある」。

「採用選考の場合には、『デザインされた経験』を話すことである。… デザインというのは、何かの目的のために考え、設計する行為だ。(アートと異なり)、世間から評価されることがデザインの価値であり、正解となる。行動原理も思いつきではなく、顧客のため、売上のためといった明確な理由が存在する。行動の先に目的があり、それを計画的に実行していくのがデザインである。デザインはまさに社会人としての取り組みであり、PDCA サイクルを回すことと同じロジックだ」。

… … … …

他の知見から、少し付け加えます。前述の PDCA サイクルを、「セルフマネジメント・サイクル」と呼ぶこともあります。そして、「成果の再現性」、つまり、「あの成果を実現した私の行動特性で、今後の業務でも安定的に成果を生み出し、貢献していきます」という論法が大事です。

また、「PDCA」に「E」(error、失敗や壁)と「R」(re-challenge、再挑戦)を加えた「スパイラル型 PDCA サイクル」というフォーマットもあります。面接担当者は、あなたの「失敗」、そして「それをどう乗り越えたか」という経験を聞きたいと思っています。

以上の点を、「学修」生活のデザインに、また、就職活動中の学生は「自己 PR」や「学生時代に注力したこと・得たこと」の構成に、活用してください。



## ◆子ども心理学科1年生 職場体験を終えて

(第一ひかり幼稚園)

子ども心理学科 1年 田中 沙苗

専門学校に入学して初めての職場体験で、私は先生の動き方を学びました。高校生の時は、子ども達と一緒に遊んだり、お世話をしたりと、子どもの動きしか見ていませんでした。しかし、保育士になる為には子どもを見ることも大事ですが、まずは先生方がどのような態度でどのように子ども達と接するのを見ることも大事だと学びました。

「先生の動き方を見る」ことを目標とし、第一ひかり幼稚園の年長組で体験させて頂きました。年長組では、小学生に上がる為の準備段階として、一人で自分の身の回りの事ができるように指導しており、甘やかさずに接し、年齢に応じ必要な事を少しずつ慣れさせていくことが大事だということも学びました。



## ◆電子情報1年生 職場体験を終えて

ICT情報システム学科 1年 尾崎 純平

今回、職場体験をさせていただいた株式会社システムソフィア様は、主に車載製品のハードウェア開発、ソフトウェア開発、システム評価を仕事内容としています。

今回の体験を通して、私は社会人としての意識の持ち方や心構えを学びました。技術者である前に社会人としての自覚をもち、笑顔で気持ちの良いあいさつをすることが大事だと思いました。また、会社は社員の生活の場であり、社員全員で会社をよりよいものにしていかなければならないということが分かりました。

そして、ビジネスは信頼関係の上で成り立っていて、嘘をついたり、人を騙したりして、利益を得たとしても、それが発覚したとき、信頼関係は失われてしまいます。

そのため、顧客の要望に適した品質の製品を提供し、コミュニケーションをとりながら信頼関係を築いていかなければいけません。これらのことは、どの仕事をするにも欠かせないことなので、良好な信頼関係を築ける人間になっていきたいと思いました。

ICT映像・音響デザイン学科 1年 萩原 有右斗

この度、結婚式披露宴の演出を行っている(株)ファンテックスへ職場体験に行き参りました。

私は数年前に、結婚式の披露宴に参加しましたが、スタッフの方々が、裏でここまで時間に追われて仕事をされているとは思いませんでした。式が終わるまでの間、リアルタイムでダイレクトに映像を編集するという事はとても大変だと思いました。

式場では、週何回か式・披露宴がありますが、新郎新婦にとっては一生に一度の大切な式ということでかなりスタッフとしてもプレッシャーを感じそうです。また、仕事をしているとどうしても失敗や嫌になることがありますが一回一回の事を絶対に失敗してはいけないという気持ちにより、それが達成感、やりがいに繋がっていると思いました。

今回の職場体験を通じて、実際の披露宴の舞台裏ではどのようなことが行われていて、どういう気持ちで仕事に臨んでいるのか知る事が出来ました。私はこの体験を無駄なものとはせず、将来に繋がっていきたいと思います。

## ◆静岡福祉医療専門学校 卒業生を囲む会

総合福祉学科 1年 岩本 光司

私たちはまだ介護実習にも行っておらず介護の現場については授業でしか学んでいません。

そのため実際に現場で活躍している先輩方のお話は9月の第一期実習に行くためにどのような学びを今からしたら良いかが分かる内容で感銘を受けました。

中でも先輩方お一人お一人が「現場で働いている中でやりがいを感じる事」についてお答え下さったことが特に考えさせられました。それは、利用者様から「ありがとう」と言われることだとお答え下さったことです。利用者様の笑顔や、感謝のことばを引き出せる援助、支援ができる先輩たちの姿はとても輝いてみえました。そして、私自身も「利用者様の笑顔を引き出したい！ありがとうのあたたかいきもちを共有したい！！」と強く感じました。

今の私たちは知識も、技術も全くありません。日々の授業はもちろん、ボランティア活動等を積極的に行い現場についての学びを深めていきたいと強く感じています。そして9月には第一期実習に行きます。その時には実習させて頂くという学びの姿勢を持ち、利用者様との関わりを大切に、ご指導いただけることに感謝できるようになりたいと思っています。

卒業したら・・・先輩方のように利用者様から「信頼される人材」になれるように今から努力し続けたいと決心することが改めてできました。

介護福祉学科 1年 河原 由佳

私は卒業生を囲む会を通して、施設で働くことのやりがいや、今の学生のうちから意識していかなければならないことを、多く学びました。

学生時代はのんびり過ごしていたが、就職をすると毎日が大変で、一日一日がとても早く感じる。しかしその中で、利用者様が自分のことを必要としてくれたり、褒め言葉をくれたりすることがとても嬉しいとおっしゃっていました。また、学生のうちから言葉遣

いや挨拶は勿論、先生方のお話から広く浅く社会を知ること・自然な笑顔・掃除や片付けなどを意識することが大切だと学びました。仕事をする中で、「相手の立場にたち、相手を敬う心」、人生の先輩である「利用者様から学ぶこと」があるなど、貴重なお話をたくさん聞くことができました。

卒業後、今回聞いたお話を活かし、立派な介護福祉士になりたいです。

医療情報秘書科 1年 堀井 未帆

今回の「卒業生を囲む会」を通して、働くということはどういうことなのかを改めて考えさせられました。

私は将来、医療事務の仕事に就きたいと考えています。医療事務は病院の顔になる仕事です。そのため、電話対応、クレーム対応なども担当しなければなりません。きっと理不尽だと感じることや、嫌な思いをすることもあると思います。けれど「働く」ということはそういうことなのだと思います。2年後、仕事に就いたら、その仕事の中にやりがいを見つけ、その仕事と上手に付き合っていきたいと思います。

「自己実現は永遠のテーマ」という先輩方の言葉を忘れず、なりたい自分をこれからも追い続けていきたいです。

## ◆2CW面接指導を終えて

介護福祉学科 2年 長谷川 恵

今回の面接指導では、自分の将来について深く考え、夢を現実的に捉える大変良い機会となりました。

まずは、履歴書を書くことから始めましたが、自己PRのしかたに苦戦しました。そんな中クラスメイト皆でお互いの良い点を言い合い、自分は他者からこのように見られているのだと自己を客観視できました。その機会を通して私は介護福祉士として必要な「自己覚知」ができました。また、利用者様のお役に立ちたいという思いは、就職先の施設、さらには社会に貢献するというイメージを明確にできました。私は、介護福祉士として何ができるかについても同時に考えました。その結果「利用者様が幸せな日々を送って頂くための介護をする」という介護観が生まれました。面接指導に向けて、前日までクラスメイトと面接練習を行いました。それでも、当日は極度の緊張で頭が真っ白になり、自分の伝えたいことを十分話すことができませんでした。

面接官の先生に「エピソードがない」とのご指導を頂き、私の伝えたい内容が明確になっていなかったのだと反省しました。何事にも根拠や理由をもち伝えたいことをしっかり持つことで、「自信」のある発言ができるということを知ることができました。最後になりましたが、今回の面接指導をして下さった理事長・校長先生を始め、先生方、そして支えてくれた仲間へ心から感謝致します。